



森 亘 議員 (自民新国会)

学力向上施策は町全体で取り組むべき

町長 町と教育委員会が綿密に連携して臨んでいきたい



瑞穂町図書館の2階にある学習スペース

質問 町教育委員会は学力向上を最重要課題として毎年4,000万円以上の予算を計上しているが、今年度は、全国学力・学習状況調査の結果を見る限り、中学生の数学において

国との差が広がっている。そこで次の4点を町長、教育長に伺う。
問① 直近2年間の町教育委員会の新たな施策、見直した施策は。
教育長 中学生および小学6年生を対象とした補修学習のためのフューチャースクールや「東京ベータシックスドリル」の小学生への配布を開始した。また、小学1年生から3年生まで配置していた学習サポートを1学年分減らした。
問② 各種施策の効果検証と見直しは。
町長 まちづくりの環境である子どもの教育を町と教育委員会が綿密に連携して臨んでいきたい。

町長 既に、さやま花多来里の郷とけやき館は、防衛省の補助事業を活用し完成しており、訪れる町外の観光客数も着実に増えている。また、狭山池上流部整備についても関係者と協議している。どんな計画でも、社会経済状況、国の新たな政策や変更などが市町村事業の予算に影響を及ぼし、計画や財源配分の見直しが必要になることがある。本事業も例外ではないが、ルート整備も含め事業費の削減に努め、他の施策とも整合させながら鋭意進めていく。



27年度行われた回廊の歩道整備 (花多来里の郷前)



小川 龍美 議員 (公明党)

一人暮らし高齢者の見守り強化を

町長 民間活用も視野に入れ、研究していききたい



乳酸飲料を届けるふれあい訪問事業

質問 一人暮らしの高齢者が増えていることから安否確認や見守り体制の強化が求められる。町は緊急通報システムや配食サービス、ふれあい訪問事業などで対応しているが、異常を早期に的確に察知するには、センサーや様々な機器、スマートフォンなどのIT技術を活用した見守りが必要と思われる。他自治体では、民間事業者が行うサービスを活用し、利用者に助成を行っているところもある。町も見守り体制の強化を図るべきと考えるが。
町長 最近では、各種通信機器をはじめセンサーなど新たな技術も開発されている。しかし、異常を感じし通報する機器があっても、



大坪 国広 議員 (日本共産党)

殿ヶ谷土地区画整理事業について

町長 計画変更に対する支援の在り方を早期にまとめる

質問 殿ヶ谷土地区画整理事業は、平成8年から開始された。現在、事業費ベースで27年度末74%の進捗率である。20年度に土地下落と建物移転費用で17億円の助成金が決まり、30年度完了まで28年度を含め2億5,770万円の残額となった。そこで、次の3点について所見を伺う。
問① 28年度以降の事業費・街路築造・建物移転などの進捗計画は。
町長 建物移転が36棟。街路などの整備が約2140m。事業費の支出見込み額は約36億4千万円。
問② どのような問題点と課題があるのか。
町長 権利者との交渉が難航しており、処分予定地の換地が進まず、区画街路の工事実施できないことや建物移転が停滞している個所がある。併せて、保留地処分価格も下落している状況。
問③ 今後の資金計画



整備を進めている殿ヶ谷土地区画整理事業

はどのようになっていくか。
町長 資金予定は見直さざるを得ない状況である。将来に対する先行投資として計画変更に対する支援の在り方を早期にまとめる。
こんな質問もありました
昭島市の可燃ごみ受け入れ問題について
町長 西多摩衛生組合における調査検討が現在も継続中である。



近藤 浩 議員 (改革みずほの会)

回廊計画の予算は見直すべき

町長 事業費の削減に努め他の施策とも整合させながら進めていく

こんな質問もありました
オスプレイ配備の動きと対応について
町長 ハワイの事故報告を受けたが、その後、追加説明はない。